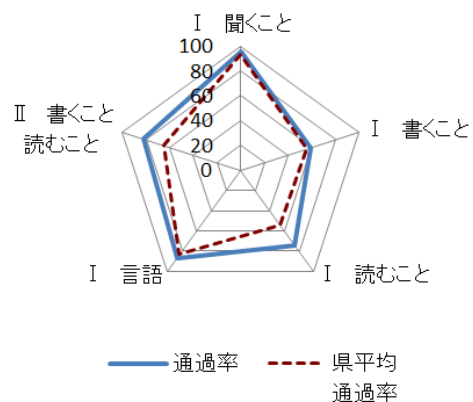


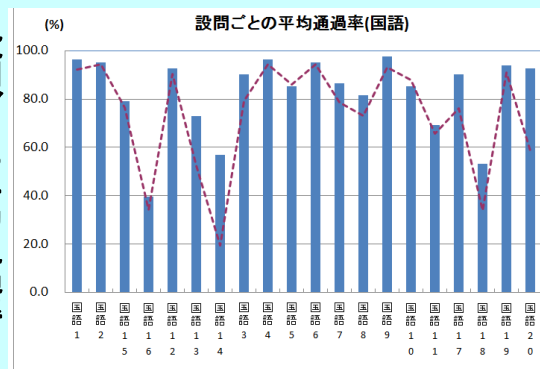
# 指導方法等の改善計画について〔国語〕

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 82.4%, 県 73.6%)

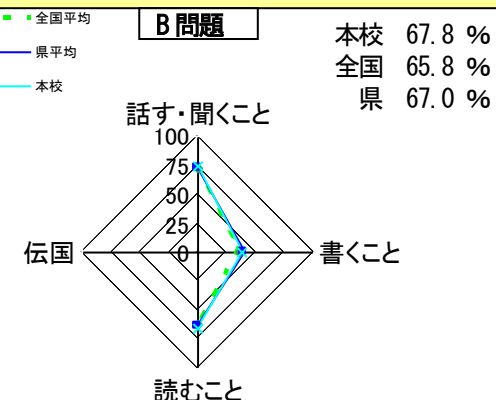
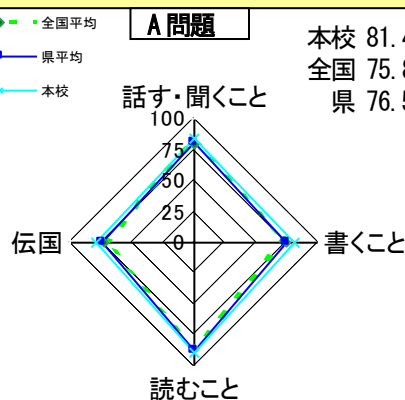
領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



全国学力・学習状況調査 本年度正答率



## 重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

◎複数の資料から必要な資料を選び根拠を挙げるなかで、図表を読み取り一つの根拠を挙げることは容易にできているが、文章中に書かれた根拠を捉えることに課題がある。(通過率 53.1%)

◎書いた文章を読み返し、読みやすく、わかりやすい文章にすることが 39.6%と低い。

◇A問題では、「青い」と「青さ」の品詞として適切なものを選択する問題が通過率 44.8% (県平均 29.0%)

◇B問題では、複数の資料から適切な情報を得て、自分の考えを具体的に書くことが通過率 26.4%と低い。(県平均 24.8%)

## 重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

◎文章中のキーワードや接続詞に注目して読むことで要旨や根拠を見つけやすくさせる。文章中のキーワードを示したり、ワークシートの工夫をしたりする。また、文章を読みながら、要約をさせることを定期的に行わせる。

◎「文の成分」の理解を深める必要がある。文章中の主語や述語を意識して読んでいくことに配慮して内容を読み取る。

◇複数の資料から情報を得て要旨を捉えることは大体できているようだが、それらに対して自分が感じたことや考えたことを明確にしていくことが弱いので、学校図書館やインターネット、新聞などを利用し、主体的に情報を探していく学習活動を取り入れた授業を行う。

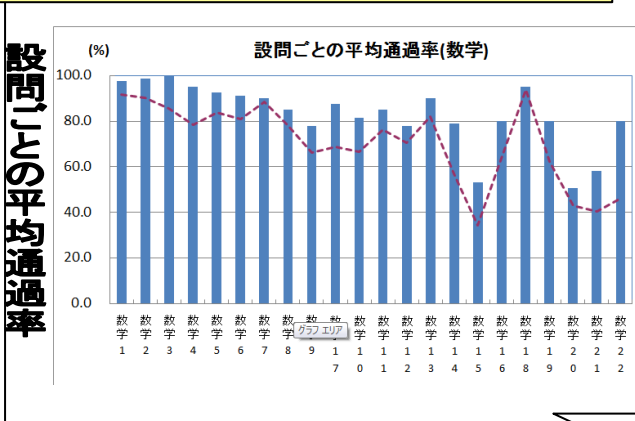
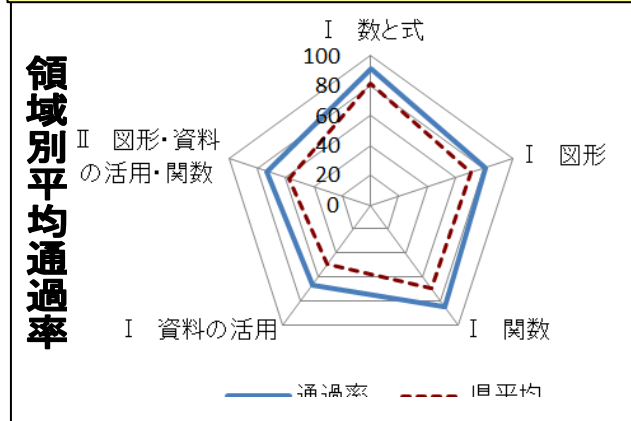
\*小中一貫した取組については、文章中から必要な情報を得ることで主張や根拠を見つけさせ、自分なりの考えや意見を述べたり、書いたりする活動を取り入れる。

◎「基礎・基本」	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	2年生実力テスト			2年生期末テスト	2年生実力テスト	2年生H27年度「基礎・基本」	2年生学年テスト
目標値	60.0%			65.0%	65.0%	70.0%	70.0%
実施後数値							
◇全国学力	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	3年生実力テスト			3年生期末テスト	3年生H27年度全国学力状況調査	3年生学年末テスト	
目標値	60.0%			60.0%	70.0%	60.0%	
実施後数値							

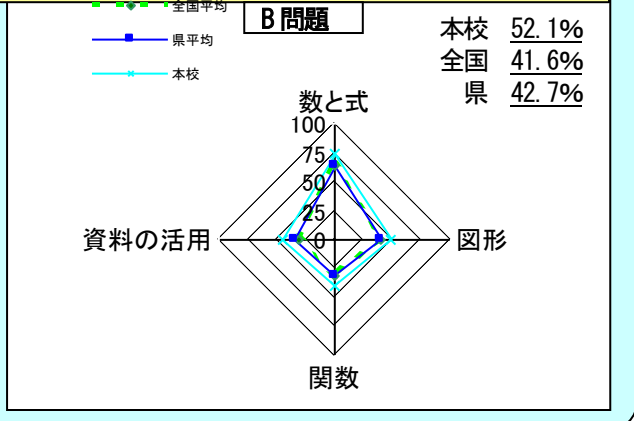
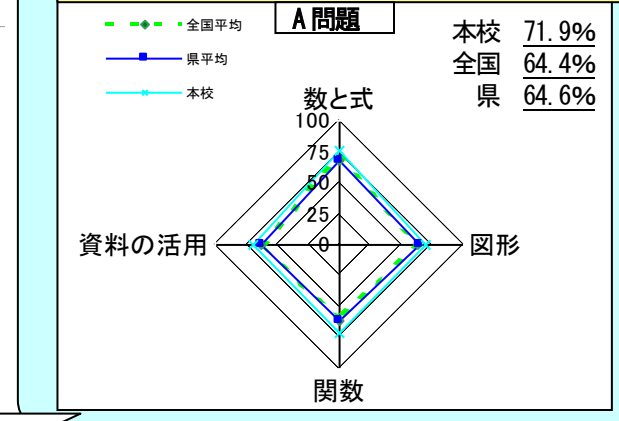
来年度に向けて

# 指導方法等の改善計画について [ 数学 ]

## 「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 83.1%, 県 70.4%)



## 全国学力・学習状況調査 本年度正答率



**重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査**

◎ 資料の傾向を捉え、判断した理由を正しく選択することに課題がある。最大値を資料の傾向を示す数値だととらえている生徒が 27.2%(通過率 50.6%)

◎ 比例のグラフの特徴について数学的な表現を用いて記述することに課題がある。グラフが直線になることまたは原点を通ることのみしか記述がなく説明不足である。30.9%(通過率 58.0%)

◇ 図形に着目して考察した結果をもとに、問題解決の方法を図形の性質を用いて説明することが不十分である。図と式と言葉が結びつかず、説明が不十分である。33.3%(正答率 35.6%)

**重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)**

◎ヒストグラムからデータの傾向を読み取り、数学的用語を利用した説明する場面をペア・小グループで比較しあう指導を増やしていく。小テストや定期テスト、授業でも同様の問題を実施し、ヒストグラムやグラフから資料の傾向をつかむ練習、指導場面を増やしていく。

◎比例、反比例のグラフの特徴を、数学的用語を掲示しながら丁寧に指導し、キーワードとして授業の振り返りに記入させる活動や記述式のドリルを定期的実施し、説明のポイントを押える練習を繰り返し行わせる。

◇ 図形の性質を捉えられるようにするために、操作や実験を通して図形の性質や特徴を捉える活動を取り入れる。図形の性質の説明する場面において、必要な条件とそれに対応する式で表す練習を繰り返す。

※小中一貫した取組については、習得した知識を表現するだけでなく、それらを活用して問題解決や説明できるように、ペア、小グループでの話し合う活動や説明し合う活動を定期的に取り入れる。

◎「基礎・基本」	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		2年生 中間試験	2年生 期末試験			2年生 H27「基礎基本」	2年生 学年末試験
目標値		60.0%	65.0%			70.0%	75.0%
実施後数値							

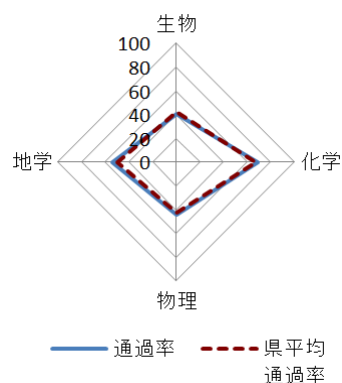
◇全国学力	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		3年生 中間試験	3年生 期末試験		3年生 H27「全国学力」	3年生 学年末	
目標値		40.0%	45.0%		50.0%	60.0%	
実施後数値							

来年度に向けて

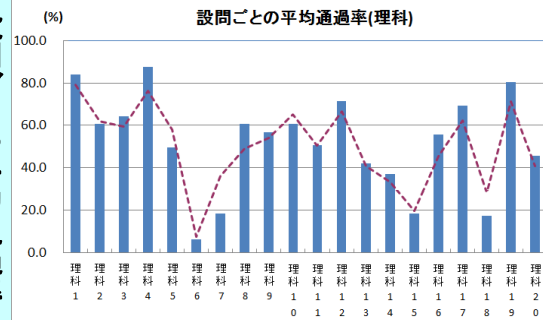
# 指導方法等の改善計画について〔理科〕

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校51.8%, 県50.2%)

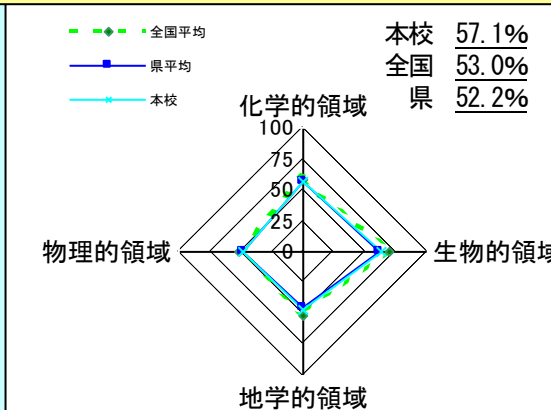
領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



全国学力・学習状況調査 本年度正答率



## 重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

◎力の大きさを一定に、力のはたらく面積を変数として、スポンジのへこみ具合で圧力を数値化した実験結果から、圧力に関する考えを一般化し、実体験での他の事象にあてはめ説明する力に問題がある。(通過率18.5%)

◎裸子植物と被子植物の花のつくりの違いについて、代表的な子房の有無についての違いは理解しているが、花卉・がくの有無まで完答できていない。(通過率6.2%)

◇雲の成因に関する知識を活用して、資料を基に他者の考察を検討して改善し、水の状態変化と関連付けて、雲の成因を正しく説明することに課題がある。(正答率20.7%)

## 重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

◎新しく学習する物理量を定義する際には、実生活での例をとりあげる。何の値をどう変化させるとその物理量の値がどのように変化するか、より具体的にイメージできるような例を挙げさせ、自らの考えを書く学習活動を多く取り入れる。

◎花のつくりを比較させ、共通するつくり・異なるつくりを教科書記載内容をもとに学習当初に確実におさえさせる。

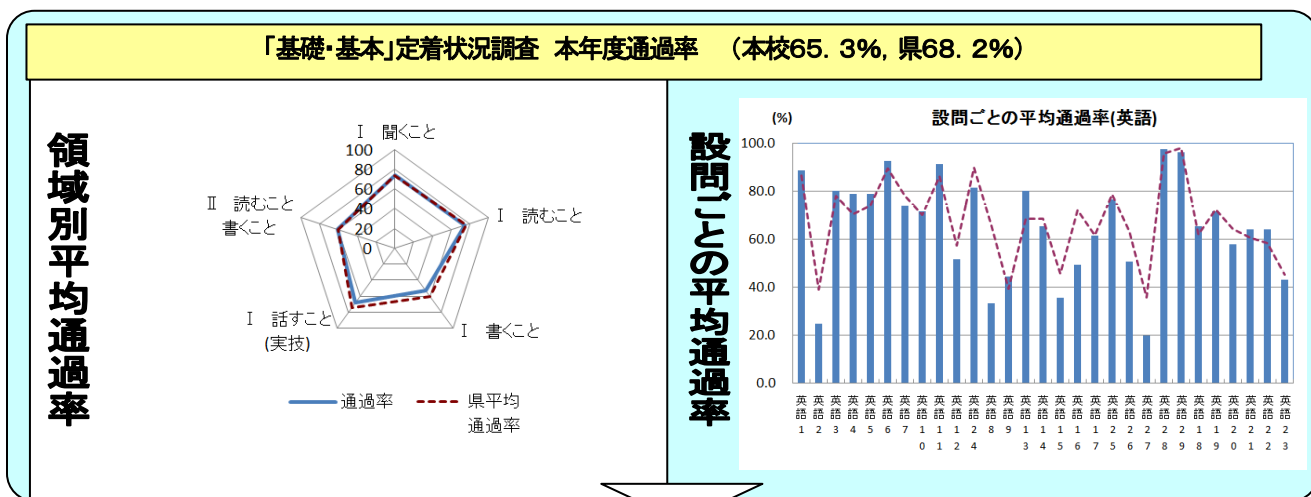
◇水の状態変化など、科学的な概念の習得を確実にするとともに、自らの考えと他者の考えを比較し、検討・改善していく学習活動をさらに充実させる。

※小中一貫した取組については、問題解決の過程において、実験の目的を明確にさせ、結論を自分の言葉で表現させることや生活と関係付けて説明することに重点を置いて指導する。

◎「基礎・基本」	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	2年生 課題				2年生 H27「基礎・基本」	1年生 H27「基礎・基本」	2年生 学年末試験
目標値	35.0%				48.0%	38.0%	55.0%
実施後数値							

◇全国学力	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		3年生 中間試験			3年生 学年末試験		
目標値		40.0%			50.0%		
実施後数値							

来年度に向けて



**重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査**

◎①英語での問いかけに対して適切に応じる能力が身につけていない。  
(Can I～? で始まる疑問文への適切な応答) (24.7%)

◎②正しい語順を用いて, this+名詞+be 動詞+形容詞の文を構成する知識が身につけていない。(33.3%)

**重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)**

◎①リスニング練習の指導をする時に, 助動詞を含む疑問文と, それに対する応答の仕方を習得させるよう指導する。

◎②基本的な語順を意識するよう指導し, あわせてそれぞれの品詞の働きを理解させるためにドリル練習を実施する。

※小中一貫した取組については, 小学校の外国語活動においてコミュニケーション活動を重点的に実施している。そのためにALTと中学校教員による乗り入れ授業を年間計画に位置づけている。

◎「基礎・基本」①	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		2年生 中間試験	2年生 期末試験		2年生 H26「基礎・基本」	2年生課題	2年生 学年末試験
目標値		40.0%	45.0%		50.0%	60.0%	65.0%
実施後数値							

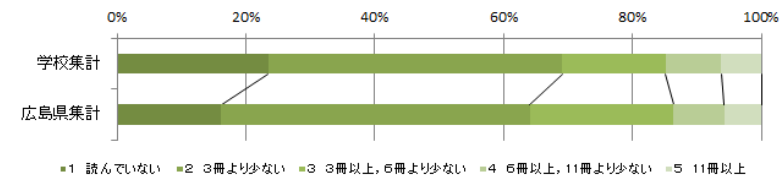
◎「基礎・基本」②	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		2年生 中間試験	2年生 期末試験		2年生 H26「基礎・基本」	2年生課題	2年生 学年末試験
目標値		40.0%	45.0%		50.0%	60.0%	65.0%
実施後数値							

来年度に向けて

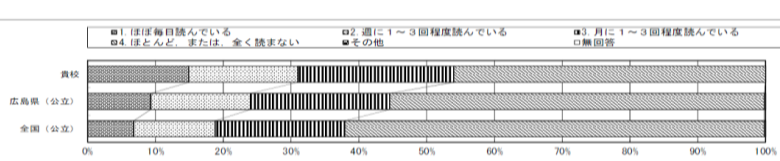
## 2 質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：生徒質問紙調査）（全国学力・学習状況調査：生徒質問紙調査）

### (1) 生活・学習

1か月に何冊くらい本を読んでいますか。(教科書や問題集、漫画、雑誌はのぞきます。)



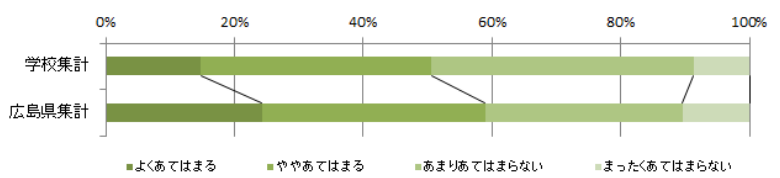
新聞を読んでいますか。



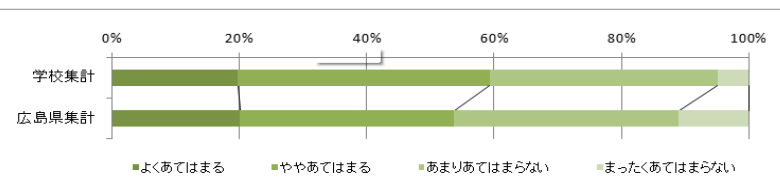
	生徒の回答についての課題(現状値)	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
基礎・基本	1ヶ月の読書冊数が0~3冊以下の生徒の割合が69.2%と高く、未読者の割合も23.5%と高い。	朝読書の時間を確実に確保できるように朝の開始の時間を守らせる。また、学級文庫などを利用し、本に触れる機会を増やす。	2	未読者15.0%以下	生徒アンケート調査を実施する。	2月		
全国	新聞を月に1~3回読んでいる(23.0%)、ほとんど・全く読まない(46.0%)生徒の割合が高い。	朝読書に新聞記事を扱うコラム曜日を定める。帰りの会には、新聞記事より話題を選び、1分間スピーチを行う。	3	合計値50.0%以下	生徒アンケート調査を実施する。	12月		

### (2) 教科

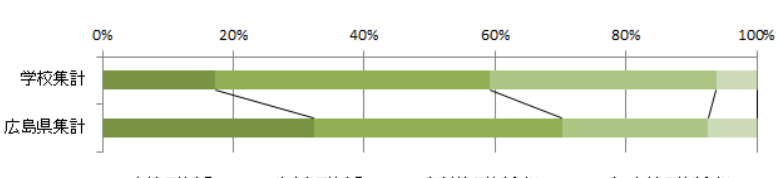
国語の授業の中で、学んだことの振り返りをしています。



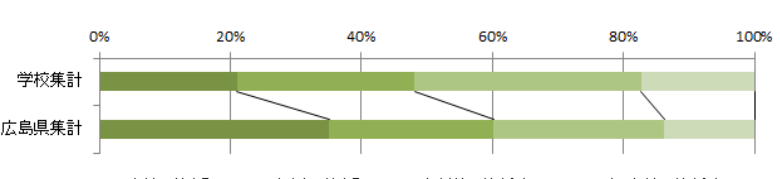
数学の授業では、解き方や考え方を話し合うときに理由をあげて説明しています。



理科 理科の授業はよく分かります。



英語の授業では、少ない人数で学習する方がよく分かります。



	生徒の回答についての課題(現状値)	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
国語	基礎・基本 国語の授業では、学んだことの振り返りをしています。(59.0%)	提示した課題を意識して学習することにより達成感を持てるようにするために学習カードの記入をさせる。	2	80.0%	生徒アンケート調査を実施する。	2月		
	全国 国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか。(64.3%)	学習の内容に応じて関連する資料を調べたり、提示することで関心をもたせるように工夫をする。	3	80.0%	生徒アンケート調査を実施する。	2月		
数学	基礎・基本 数学の授業では、解き方や考え方を話し合うときに理由をあげて説明しています。(59.3%)	説明のモデルを掲示し小グループでの話し合い活動を増やす。課題やドリルなどで考えを説明問題を取り入れていく。	2	80.0%	定期テスト 小テスト	2月		
	全国 数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか。(58.6%)	日常から数学として捉えられる問題を見つけ、解決する活動を取入れる。そのことをレポートにまとめたり、グループ活動で人の考えと比べたりする活動を取入れる。	3	80.0%	生徒アンケート調査を実施する。	2月		
理科	基礎・基本 理科の授業を理解していると感じている生徒が、59.3%で県平均の70.3%を下回っている。	課題や授業のゴールを明確にさせ、それぞれが達成感を得られるような学習活動を実施する。	2	合計値70%以上	生徒アンケート調査を実施する。	2月		
	全国 自分の考えをまわりの人に説明したり、発表したりしようとする生徒の割合が低い。(36.7%)	仮説を設定したり、実験を計画したり、実験結果を整理し考察をしたりする場面で、グループによる活動を積極的に取り入れる。	3	60.0%	生徒アンケート調査を実施する。	2月		
英語	基礎・基本 少人数で学習することに肯定的な生徒が、48.2%で県平均の60.3%を下回っている。	少人数で学習する内容を吟味し、それぞれが達成感を得られるような学習活動を実施する。	2	合計値60%以上	生徒アンケート調査を実施する。	2月		